

美浦中学校2年生が 台北市立敦化国民中学を訪問しました



訪問団団長
美浦村議会議員
林 昌子

この度、「平成30年度美浦少年のつばさ事業」において、訪問団の団長として参加いたしました。同事業は、美浦中学校と敦化国民中学校の生徒との交流を中心とするもので、本年5月に敦化中学生が美浦中学校を訪れた2カ月後の訪問となり、より友好が深まった交流となりました。交流事業では、マーブリング体験、団子作り、バスケットボール試合等のスポーツ体験を行いました。当初は緊張して遠慮気味の生徒も段々と打ち解け、積極的に英語や身振り手振りで会話する姿に頼もしさを感じる交流会でした。生徒の皆さんには、日本のルールと海外でのルールの違いを感じる場面に遭遇したり、外国語の習得の大切さを痛感するなど、外国を肌で体験した経験をいかして今後の人生を歩んでくれることを期待いたします。

最後に、訪問団が無事に帰国できましたこと、団員の皆さん、保護者の皆さま、引率者各位のお力添えのおかげと感謝します。そして、このような機会を与えてくださった美浦村に深謝申し上げます。



美浦村ふるさと大使
阿井 英二郎

この度、26回目を迎える歴史ある「美浦少年のつばさ」事業に参加させていただきました。「一歩踏み出すこと、自分たちの勇気が美浦村の国際化につながる。心が通じ合う瞬間は、何の気負いもない中で訪れるはず」出発前の結団式で、生徒たちが述べた誓いの言葉は実に力強いものでした。

交流会において、生徒たちは、新しい出会いをとても大切にしていました。異なる習慣や文化への理解に努めようとする姿には責任感が溢れ、また将来性も感じられました。根底には、異国の地へと送り出してくれた親御さんや美浦村への感謝の気持ちがあったからでしょう。とても貴重な時間と空間でした。

今般参加してくれた生徒たちは、それぞれ「何か」を感じ取ってくれたことと思います。その何かを契機に、今後ますます成長し、彼らが大人になる頃、国際的に活躍できる人材が出てきてくれれば素晴らしいことと考えます。彼らはきっと美浦村に新たな光を点してくれるでしょう。

美浦少年のつばさ事業 台湾の伝統と文化に触れた六日間

今年で26回目をむかえる「美浦少年のつばさ事業」は、海外の同世代の人々との交流を通じて国際感覚を備えた美浦村の将来を担っていく人材の育成を目的に、美浦村人材育成推進協議会が毎年行っている事業です。今年では7月30日から8月4日までの6日間、美浦中2年生16名を含む美浦村訪問団が台湾を訪れました。

今年も中学2年生の団員募集には多数の応募があり、抽選により16名の団員が決定しました。

団員の皆さんは、普段の生活との違いに戸惑い、言葉の壁にぶつかりながらも、台北市立敦化国民中学の生徒との交流を通じてかけがえのない友人をつくることができました。台湾の伝統と文化を身近に体験した6日間でした。



引率者 《敬称略》

- 団長 林 昌子(美浦村議会議員)
- 阿井英二郎(美浦村ふるさと大使)
- 富岡 正幸(美浦中学校校長)
- 宮崎百合子(美浦中学校教諭)
- 仲野 博之(美浦中学校教諭)
- 菅野 眞照(役場企画財政課)



糸賀 稀吏 (2-B)

僕は、今回の美浦少年のつばさ事業に参加し、敦化中学校の生徒との交流で驚いたことが2つあります。1つ目は、敦化中生の英語能力です。僕の分からない英単語がいくつも聞こえてきたので、もっと英語の勉強が必要だと思いました。2つ目は、ジェスチャーです。敦化中生は、ただ英語を話すだけではなく、体を使って表現していたので、僕も真似をしたらスムーズにコミュニケーションがとれ、理解しあえて心も通じあえ嬉しかったです。この研修での経験をこれからの生活にいかし、また台湾に行き、さらに様々なことを学びたいと思いました。



岡村 雄大 (2-B)

僕は、今回の少年のつばさ事業で敦化中の生徒と交流をしました。最初は、緊張から何をすることも硬くなってしまいましたが、敦化中の生徒の人達が積極的に話しかけてくれたことで表情も和らぎ、最後まで笑顔でコミュニケーションをとることができました。たとえ言葉が通じなくても伝えることはできるのだと実感できました。また、英語は敦化中の生徒の方が発音なども上手でとてもすごいと思いました。僕も見習ってこれからもたくさん勉強したいと思います。この研修がとても有意義なものになりました。



石川 航大 (2-A)

私はこの6日間でたくさんのことを学び、経験することができました。特に実感したのが、コミュニケーション能力の違いです。私は英語を小さい頃から習っていましたが、今回の研修を通して、自分の英語はまだ海外に通用しないことがわかりました。敦化中生は、とてもネイティブな発音で、文の構成なども完璧でしたが、私は知っている単語をつなげて文を作るのが精一杯でした。なので、今後の授業では台湾の生徒のようなネイティブな発音を意識していきたいです。今回の研修で学んだことを今後の学校生活や、将来にいかしたいと思います。



大竹 彩菜 (2-A)

私は、今回の美浦少年のつばさ事業でとても貴重な体験をさせていただきました。敦化中の生徒との交流は、素晴らしい思い出になりました。英語が通じない時が多く、もっと英語を勉強したいと思いました。親日家ということもあり、台湾の人達の温かさを感じる事ができました。話す言語は違っても、心は通じ合えるということを感じました。帰ってから繋がついていることが、何よりの宝物となりました。このような機会を与えてくださったことに感謝をして、今後の人生にいかせるよう努力したいです。本当にありがとうございました。

私はこの研修で、多くのことを学びました。特に敦化中との交流会ではコミュニケーションのとり方を深く学びました。言葉が通じなくても、ジェスチャーや表情などでコミュニケーションがとれることを実感しました。写真撮影や会話などを通して、どんどんと会話が多くなり、仲間を深めることができました。友情や絆には国境という壁はないということがよくわかりました。私は今回の研修で学んだことをいかし、コミュニケーションをとる際には表情を意識していきたいです。そして、たくさんの方との交流を大切にしたいと思います。



小澤 真央 (2-B)

私が今回の研修で学んだことは2つあります。まず、言葉が違ってジェスチャーを使って伝えられることです。私は言葉が違うため思うように話しかけられませんが、体を使うとうまく伝わりました。2つ目は誰にでも良い態度で接することです。敦化中生はとても優しく接してくれてうれしかったので私もまねしたいと思います。そして自分の将来にいかしていきたいです。私はこれからの学校生活でコミュニケーションを積極的に心がけていきたいです。この研修に参加して、とても良い経験ができました。



細谷 凌我 (2-B)

この研修で私は、たくさんのことを学びました。特に、敦化中生との交流では、英語が話せないと大変なのだと肌で感じました。最初は緊張してなかなか話せなかったけれど、ゲームや自由行動の時間でまるで幼馴染のような仲にまで心を通わせることができました。友情には国境がないと感じる事ができました。この2日間で敦化中生との友情を最大限まで深めることができとても嬉しかったです。また残りの4日間では台湾の歴史や文化のことをたくさん知ることができました。本当に良い研修にでき自分の成長につなげられたと思いました。

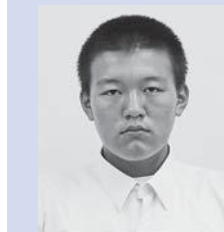


佐々木 優心 (2-A)

今回の研修はたくさんの事を学ぶことができたとても良い研修になりました。まず、英語力の重要性です。これは敦化中生との交流でとても感じました。交流の時に英語でコミュニケーションをとるのですが、その時に知らない単語がたくさんあって、同じ中学生なのにこんなにも実力差があるのかと痛感しました。2つ目は思いやりの気持ちです。食事をする時に敦化中生が料理をとってくれたり、飲み物をすすめてくれたり、とても優しい人達だと思いました。今回の研修で感じたことを自分でも行動できるよう意識をして生活していきたいと思いました。



矢木沢 勇真 (2-A)



趙 洋 (2-C)

私は今回の交流で台湾の生徒と
いろいろな交流をしました。特
に印象に残ったのは、一緒に見
学に行ったことです。最初に行
ったのは宜蘭国立伝統芸術セン
ターで、みんなとまとまっている
いろいろなお店に行きました。お
いしいものも食べて、とても仲
が良くなり楽しかったです。次
に十分に行き天燈上げをしました
。自分の願いごとをみんなで書き、空に飛ば
したのが楽しかったです。交流ができて本当に楽し
かったです。私は台湾という場所と人々にいろ
いろなことを教えてもらうことができました。私は
本当に6日間楽しかったです。



塚本 杏那 (2-C)

私はこの少年のつばさ事業に参
加してたくさんを経験しまし
ました。教化中の人との交流で
は、英語が思うように使えず
台湾語も分からない状況で、
ジェスチャーや表情で会話を
するしかありませんでした。し
かし台湾の人たちは皆優しく
、たくさんの人と交流でき、
最後には私のパートナーが
お別れのプレゼントをくれま
した。今回の経験で、友情に
国境の壁はないと思いました。
私はこの研修を通じ、コミュ
ニケーションを大切にすると
ともにジェスチャーや表情の
大切さも再確認できました。
この事業に参加してよかったです。



松村 秀喜 (2-B)

今回の研修で僕は、台湾の生徒
たちとの交流を行い、たく
さんの学ぶものがありました。ま
ず、交流を行う前の教化中
の生徒たちの親切さに驚
きました。用意されている部
屋のイス・ドアなどを先
に行き行って開けてくれた
りイスを出してくれたりす
る親切さは、部活や学校生
活でもいかせせるものな
ので、僕もぜひ積極的に
行っていきたいと思います。
また、コミュニケーション
がとれなくて困っている
ときに簡単な英語で話
しかけてくれる優しさにも
驚きました。今回の研修は
気遣いや思いやりの大切
さを学ぶことができました
。すばらしい機会となり
ました。



谷畑 佑奈 (2-B)

私はこの少年のつばさ事業で、
たくさんの思い出ができた
。その中で一番心に残った
ことは、教化中との交流
です。1日目は、なかなか
喋ることができず、2日
目がどうなるか不安でし
た。しかし、2日目の自由
行動で少しずつコミュニ
ケーションをとることが
でき話も通じて教化中
の子と仲良くなること
ができました。たった1
日でこんなに絆が深ま
ると思っていません
でした。最後のお別れ
のときは、もっと1日
目に楽しんでおけばと
後悔しました。悲しみ
やさみしさの中でも、
最後はきちんと笑顔
でお別れができたので
良かったです。

私は今回台湾に行って、たく
さんの貴重な経験をすること
ができました。最も印象に
残っているのが教化中の
生徒とたくさん交流した
ことです。最初は何を言
っているのか分からな
かったのですが、お互
い接しているとだんだ
ん通じあってきたよう
に感じました。コミュニ
ケーションは大事だ
と思いました。教化
中学生はいつも笑顔
で面白く、みんなと
ても優しく、温かみ
が感じられました。ま
た、今回の研修の中
で学んだこともたく
さんありがとうございました。
友達のことを考
えて行動すること
や時間をきちんと
守ることの大切
さを改めて実感
することができ
ました。



沼尻 清か (2-C)

私が今回の研修で学んだことは
2つあります。1つ目は、言
葉が違ってても伝えよう
とする思いです。教化中
の生徒と私たちは国が違
い、言語も違いますが、
言葉だけでなく体を使
って伝えてくれました。2
つ目は、国が違うからと
言っ差別をしないこと
です。教化中の生徒や、
夜市のお店の人は、私
たちが日本人だと知
っても快く受け入れて
くれました。どんな人
でもいい気持ちで接
してあげたいという
人の温かさを感じ
ることができました。
私は今回の研修
を通して、コミュニ
ケーションの方法は
言葉だけではないの
だということ
を学ぶことが
できました。



松葉 武龍 (2-C)

私はこの少年のつばさ事業で、
たくさんのことを学び
ました。特に、教化中
の交流会では、言葉
がうまく通じないな
か、ジェスチャーや
顔の表情などで会
話することがと
ても大変でした。
でも、自分の意見
が相手に通じた
ときは、大きな
達成感を味わ
うことができました。
3日目の教化中
生とのお別れの
ときには、みんな
と離れたくない
という気持ち
でいっぱい
でした。今回の
経験で、言葉
が通じなく
ても、うま
く話ができ
なくても、手
の動きや目
の動きを使
って、自分
の考えを
伝えられ
れば、交
友関係を
築いてい
けるのだ
と実感す
ることが
できまし
た。



石井 瑞貴 (2-C)

私は、今回台湾に行きたく
さんの経験をしまし
た。その中
でも一番心
に残ったこ
とは教化中
との交流
会です。1日
目は自分
の言葉や思
いが通じず
、とても苦
戦しまし
た。ですが
2日目に
なんとか改
善しようと
学んできた
英語を使
いコミュニ
ケーション
をしようと
頑張りました
。そのかい
あって、2
日目はと
ても絆を
深めること
ができた
ります。私
は、1日
目にも
っとコミュニ
ケーション
をとり、仲
良くなっ
ていれば
後悔して
います。で
すが本当
にたく
さんの思
い出を作
ることが
できまし
た。今回
の台湾
研修に
参加す
ることが
できて、
本当に
よかったです。



齊藤 恵菜 (2-C)